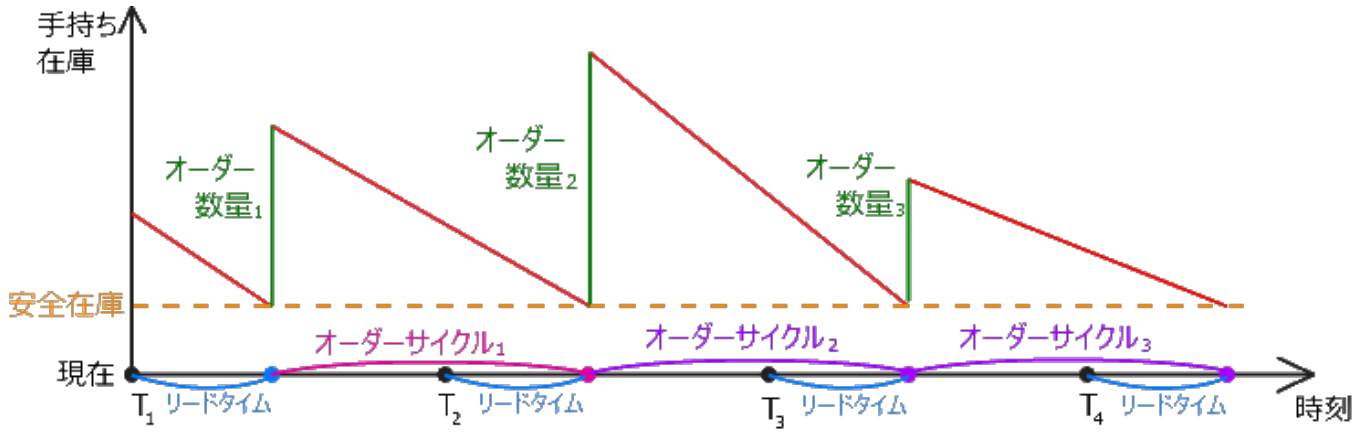
6.4. オーダー計画計算

GMDH Streamlineの **オーダー**立案処理は、設定された補充方式にかかわらずオーダーサイクルにて決定されます[1]。 **オーダー**計画には、推奨数量、推奨**オーダー**日付が含まれます。

GMDHStreamlineでは、**オーダー**計画計算は、次の2手順で実行されます。第1手順では、今回の**オーダー**数量を計算します。この発注量は、最初の**オーダーサイクル**期間中の需要を満たす数量になります。
第2手順では、次の**オーダーサイクル**期間中の発注量を計算します(下記の図を参照)。



T_i – *Order qty*$_i$となる補充**オーダー**が作成された時点です。ここで$i = 1,\ldots$.

下記の文章にてGMDH Streamlineの**オーダー**計画と予測在庫水準計算方法を、場合別に学ぶことができます。:

- 一般的な在庫計画
- 2段階計画
- 資材所要量計画

次へ: 一般的な在庫計画

PDFダウンロード

[1]
翻訳者注釈: 一般的にミニマックス補充方式ではオーダーサイクルではなく発注点がオーダー作成の基準になります。しかしながらGMDH Streamlineでは、ミニマックス補充方式を利用しても、オーダーサイクルが利用されます。

From:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:ordering-plan-calculation

Last update: **2020/09/28 08:20**